

LipoTEST 検査結果選択 パターン

4:複合・逆転型

VLDL↑、LDL↑

LDL>HDL

鑑別診断・治療指針

■脂質プロファイルの特徴

LDL コレステロール 高値

VLDL 中性脂肪 高値

LDL>HDL

■鑑別診断、併発・原疾患が疑われる疾患

副腎皮質機能亢進症

甲状腺機能低下症

糖尿病*

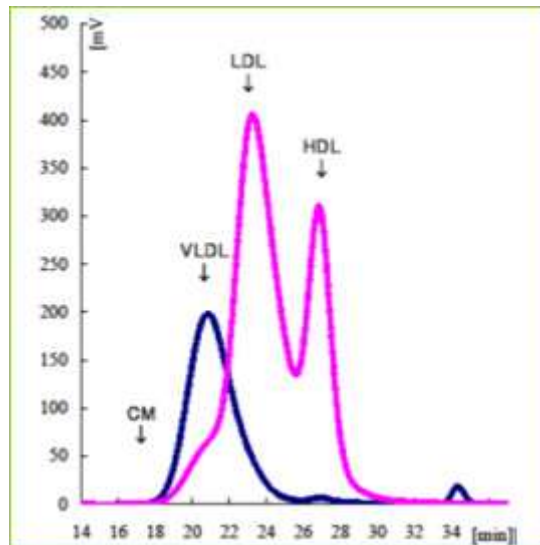
膵炎(二次的?)

胆泥症(二次的?)

肝臓への脂質蓄積(二次的?)

末梢血行障害

高齢/背側の皮脂線炎



■ 治療指針

* 原疾患がある場合、その治療を行う。

● 脂質代謝改善

・食事の変更: 低脂肪食への変更

・治療薬の選択肢

プラバスタチン

フェノフィブラート

LipoTEST 結果の各分画の数値と、標準値からの乖離を確認し、その差が大きい分画の改善治療を優先する。具体的には、

- ー VLDL-TG > LDL-Cho の場合は、フィブラート製剤を優先する
- ー LDL-Cho > VLDL-TG の場合は、プラバスタチン製剤を優先する

* フィブラートとスタチンの併用は禁忌！

ヒトでは副作用の横紋筋融解症のリスクが高まるとされている。

● 肝疾患対策:

・肝酵素値が高ければ、ウルソ、分岐鎖アミノ酸(BCAA)強化。胆泥蓄積のモニター必要。

・脂質代謝改善薬の長期投与(2ヵ月以上)が必要ならば CoQ10 の併用

・BTR(総分岐鎖アミノ酸/チロシン モル比)が低ければ分岐鎖アミノ酸の補給

●胆のう疾患対策:

胆泥

・胆泥があればウルソ、EPL カプセル、エリスロマイシン微量投与またはモサプリドクエン酸塩投与を検討。

●再検査の目安

・1~2ヵ月後 LipoTEST 再検査:臨床症状と結果に応じて治療の見直しを行う

・LipoTEST を活用した脂質異常症診療フローをご参照ください。

・具体的な症例相談は LipoTEST ご利用時にお問合せ下さい。

注意・免責事項:

※インスリン注射でコントロール中の糖尿病症例に脂質代謝改善治療を導入した場合相乗効果でインスリンが効きすぎて1週間以内に急激な低血糖が起こる可能性があります。安定するまでは症状の観察と厳密な血糖モニターが必要になります。ご注意ください。

* 当サイトを参考にした獣医師の裁量による治療や薬剤処方には、十分なインフォームド・コンセントと慎重なモニタリングが必要です。当社は、お客様又は第三者に発生したいかなる損害または損失に対して、一切責任を負いません。